

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

地域名

始良市・山田中学校区

人権課題

ハンセン病元患者等課題

各組織の動き・役割等

人権教育総合推進会議→家庭・地域への啓発の在り方について協議

人権推進委員会（研修）を基にした子どもたちの学習、家庭・地域への啓発

鹿児島県教育委員会

人権推進委員会→職員・保護者・地域住民の理解促進

始良市教育委員会

始良市立山田中学校：家庭教育学級において、人権課題ハンセン病元患者等について、職員・保護者が講話を通じて学んだ。

各小・中学校長

始良市立山田小学校：家庭教育学級において、人権課題ハンセン病元患者等について、職員・保護者が講話を通じて学んだ。

PTA会長

各校区コミュニティ協議会会長

始良市立北山小学校：家庭教育学級において、人権課題ハンセン病元患者等について、職員・保護者が講話を通じて学んだ。

人権擁護委員

始良市立山田中学校：ハンセン病元患者等について、家庭教育学級との講話聴講を中心に、全校生徒が事前事後まで意図的・計画的に学習を行った。ハンセン病問題を正しく理解する週間においてハンセン病についての道徳科の授業実践を行った。

山田小学校・北山小学校：人権学習において、様々な人権課題があり、その原理は共通する部分が多いことを学習した。

始良市：ハンセン病問題を正しく考える週間で始良市のホームページを活用して啓発を行った。

校種間連携の
概要

- ・山田中学校ブロック（山田中、山田小、北山小）の教職員、保護者、地域住民が講師を招聘しての研修会に参加して、ハンセン病問題について理解を深めた。結果、教職員、保護者、地域住民のハンセン病問題に関する理解が深まる取組となった。
- ・新聞社に依頼して記事にさせていただくことを通して、地域住民だけでなく多くの市民や県民への啓発につなげた。
- ・生徒が学んだことを各小学校や地域に出向いて出前授業を実施していきたい。

地域との連携
の概要